

競技注意事項

1 入退場について

1. 入場について

共通項目

- ① スタンドへ入場できるのは、各学校の陸上競技部顧問、競技役員、選手、マネージャー、補助員、出場選手の保護者のみとする。

出場選手

- ① 招集完了時に「入場管理シート」に招集完了印を押してもらう。
- ② 招集完了後に「入場管理シート」を南ゲートにて掲示することにより競技場への入場を認める。準決勝・決勝は、アスリートビブス（ナンバーカード）を南ゲートにて提示することで入場できる。
- ③ 入場後に自分の荷物をまとめて置いておくためのビニル袋（40 ㎝サイズ以上）を各自で1枚を用意する。（荷物置き場にテントは設置しません）
- ④ 競技が終了したら、すみやかに南ゲートから競技場を出る。
- ⑤ 記録の掲示は決勝・準決勝進出者以外は発表しない。決勝・準決勝進出者は QR コードより WEB 速報を見て確認するか、正面出入口付近でも確認できる。

競技役員・学校顧問・マネージャー・補助員・選手の保護者

- ① 学校顧問、マネージャー・選手保護者はメインスタンドのみ立ち入りを認める。（場所取禁止）
- ② メインスタンドに入場する場合は、2階入口を利用すること。
- ③ 競技役員・補助員の休憩所として相撲場を利用してもよい。（飲食可）

2. 待機場所について

- ① 選手はレクリエーション広場の学校ごとに割り当てられたエリア（高体連 HP 参照）のみ利用することができる。
- ② 選手の待機場所としての利用のみとし、それ以外の用途として留まらないこと。
- ③ レクリエーション広場以外に待機場所を絶対に設けないこと。

3. 招集所について

招集場所は正面出入口付近とし、招集完了後、南ゲートより入場する。

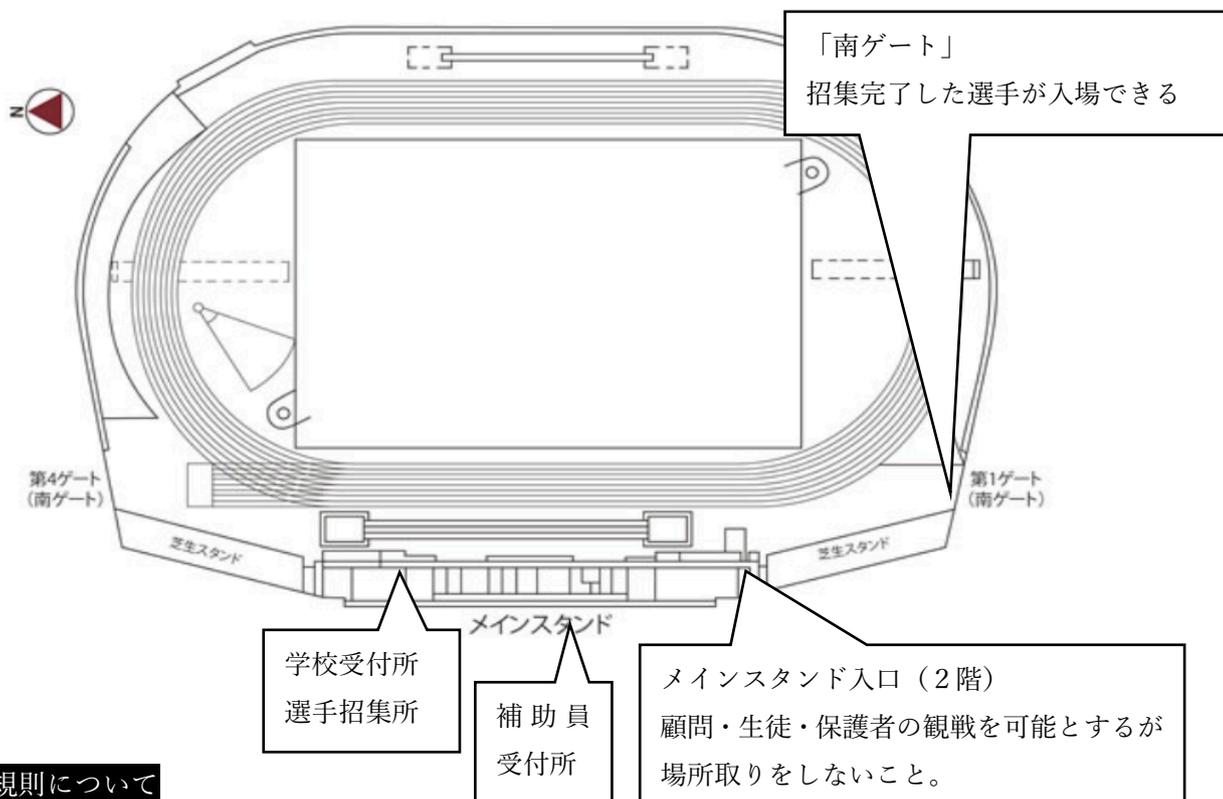
4. 更衣について

北陸1階の更衣室を使用すること。

5. その他

- ① 各自で出したごみは必ず持ち帰ること。清掃当番校の割り当てはありません。
競技場周辺の公園での練習等は絶対に行わない。(バックスタンド裏、野球場周辺、山崎川沿など)
- ② 閉会式は行わない。

6. 入場・招集所



1 競技規則について

1. 競技運営について

- ① 本大会は、2023年度日本陸上競技連盟競技規則及び申し合わせ事項に則って行う。
- ② 本大会のスタート動作における競技規則は、国内適用を用いる。

2. ウォーミングアップについて

ウォーミングアップの実施はレクリエーション広場で7時30分から最終の種目の招集終了時間まで実施してもよい。

この範囲のなかであれば下記の通りにウォーミングアップを実施してよい。

① 北競技場

- 各日7時30分から9時まで練習可能とする。
- 各日9時までに9時30分開始のフィールド種目以外の競技者は速やかに一度競技場から退場すること。

② レクリエーション広場

- 使用可能時刻は、最終種目招集開始時刻までとする。
- 跳躍練習、投擲練習は実施できない。
- 他人の怪我につながる可能性のある行為をしないこと。

- 当大会に出場する選手のみを使用を認める。

3. 招集について

- ① 招集所は、北競技場の正面出入口付近に設ける。
- ② 招集完了時刻に遅れた競技者は、該当種目については棄権とみなして処理する。
- ③ 各種目の招集完了時刻・完了時刻は以下の通りである。

	招集開始	招集完了
トラック競技	競技開始 40 分前	競技開始 20 分前
フィールド競技（棒高跳を除く）	競技開始 40 分前 ※	競技開始 30 分前
棒高跳	競技開始 70 分前	競技開始 50 分前

※ハードル種目は、男女の最初のハードル種目に合わせる。

- ④ リレーのオーダー用紙は、予選（ジュニア含む）は招集完了時刻の30分前、決勝（オープン含む）は招集完了時刻の60分前までに招集所に提出すること

4. アスリートビブス（ナンバーカード）について

- ① 規定のものを、胸部・背部に必ず固定しておくこと。（TR5.7を厳守）
- ② 跳躍競技については、胸と背のいずれか一方のみでもよい。
- ③ トラック競技に出場する競技者には、写真判定用の腰ナンバー標識を招集時に配付する。右腰のやや後部につけ、競技終了後に係まで返却すること。

5. 表彰について

1年生の部、ジュニア部の各種目6位までを入賞者とし、賞状を授与する。表彰状を表彰室まで取りに来ること。

6. 全国高校総体出場選手のオープン参加について

大会要項のとおりとする。

2 競技に関して

- ① 競技器具・競技用靴について
- ② 原則として競技場備え付けのものを使用すること。
- ③ 棒高跳における「ポール」については私物を使用してもよい。
- ④ スパイクのピンの長さは9mm以下とする。ただし、走高跳・やり投については12mm以下とする。いずれの場合も本数は11本以内とする。
- ⑤ 競技用靴については TR5.2を適用する。規格外のシューズを使用して競技に出場した場合は、失格として取り扱う。
- ⑥ 本大会は、フィールド競技用シューズのTR5.2を適用せず実施する。

2. トラック種目及びフィールド種目の実施方法について

トラック競技

- ① トラック競技の計時は、全て写真判定装置を使用する。
- ② 男子3000mは12分、男女3000m Wは21分で競技を打ち切る。

- ③ リレー種目はエントリーを6人とするが、当大会にエントリーされていれば出走を認める。
- ④ ハードル種目の100mH、110mHの予選については男女それぞれの最初の種目の前10分間をハードル練習の時間とする。決勝および400mHについては、男女共通の練習とする。

フィールド競技

- ① 1年生の部はベスト8を実施するが、ジュニアの部の試技数は3回までとする。
- ② 投擲競技の計測は、光波測定器を使用する。(運営上の問題で変更する場合がある。)
- ③ 走高跳を除く跳躍、やり投の競技者は、助走路の外側に主催者が用意したマーカーを2個まで置くことができる。サークルから行う投てき競技はマーカーを1個だけ使用することができる。走高跳の競技者は各自でマーカー(粘着テープ、2箇所まで)を助走路内に用意することができる。
- ④ 三段跳の踏切版は、砂場から男子10m、女子8mの地点に設置する。
- ⑤ 走高跳・棒高跳のバーの上げ方は、最後の一人になり優勝が決定するまでは次の通りとする。ただし、天候などの状況により変更することがある。

種目	練習	最初の高さ				
走高跳	1年男子	1m30～	1m35	5cm ずつ	1m90	以降、3cm ずつ
	1年女子	1m10～	1m15	5cm ずつ	1m60	以降、3cm ずつ
	Jr 男子	1m50～	1m55	5cm ずつ	1m90	以降、3cm ずつ
	Jr 女子	1m20～	1m25	5cm ずつ	1m60	以降、3cm ずつ
棒高跳	男女	大会当日に指示をする				

3. 競技運営について

- ① 競技者はビデオ装置・レコーダー・ラジオ・CD・トランシーバーや携帯電話、もしくは類似品の危機を競技場内で所持または使用することはできない。(TR6.3.2)
- ② 競技者は競技場所から勝手に離れることはできない。
- ③ 抗議は、TR8.2によって定められた時間内(結果がアナウンスされた時刻を正式発表とする)に、競技者自身もしくは代理人が、担当総務員を通じて審判長に対して口頭で行い、控え室で待機する。さらに、審判長裁定に不満の場合は預託金(1万円)を添え、担当総務員を通じてジュリーに「抗議申立書」で申し出る。
- ④ 不当な行為をした競技者には警告が与えられ、場合によって当該競技から除外される。警告はイエローカード、除外はレッドカードを示すことによって競技者に知らされる。

4. 番組編成について

- ① トラック競技の予選のレーン順、フィールド競技の試技順は、プログラム記載の順とする。
- ② 欠場等で予選が8名以下となった場合は、編成を組み直し、決勝のみとする。
- ③ レーンで行うトラック競技では、欠場者のレーンは空ける。800mについては競技役員の指示に従うこと。
- ④ トラック競技の決勝の発表は、下記のQRコードからWEB速報を確認すること。正面出入口口

付近でも確認できる。

- ⑤ タイムによって次のラウンドに進む競技者の決定について、同記録がありレーン数が不足する時の処置は、写真判定主任が0.001秒の実時間を判定して進出者を決定する。それでも決定できない時は抽選とする。(TR21.2)

5. 一般的注意事項

- ① 各校引率教員は大会当日の競技開始30分前までに学校受付を完了すること。この受付がない場合、選手は競技に参加することができない。
- ② 選手の変更は認めない。
- ③ ゴミの持ち帰りに努めること。また、近隣のゴミ箱等に捨てることはしない。
- ④ 応急処置をする場合、その他健康上の問題が生じた場合は医務室に連絡する。競技場での疾病・障害に対する応急処置は主催者で行うが、以降の責任は一切負わない。
- ⑤ 横断幕、応援用ののぼり等は使用しないこと。
- ⑥ 競技場外フェンス付近や歩道橋での観戦、応援はおこなわないこと。
- ⑦ 貴重品の管理は、各自で責任を持って行う。

◆競技者の人権保護の観点から、写真・ビデオ撮影について、以下の点にご協力ください◆

※保護者及び本人の了解がない撮影を禁止します。

※撮影禁止をさせていただくエリアは下記のエリアです。

◎各種目のスタート後方 ◎走高跳、走幅跳、三段跳、棒高跳の助走後方・着地前方

◎走高跳マットに向かった正面(クリアランス動作中)

・選手がスターティングブロックの足合わせを行っている間や、試技を待っている間、身体を動かしている間など、競技の準備を行っている時。

※また他者に著しく迷惑をかける行為と主催者が判断した場合は、すみやかに警察及び関係機関に連絡します。

記録公開 Web サイト (学年別)

<http://nagoyatf.xyz/nagoya.north-south2/nans21v/shtml/TimeTable.html>

